



2025年12月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ダ イ セ キ
代表者の役職・氏名 代表 取 締 役 社 長 山 本 哲 也
(コード番号9793 東証プライム・名証プレミア)
問い合わせ先 常務執行役員企画管理本部長 片瀬 秀樹
(電話番号 052-611-6322)

ダイセキは、気候変動分野の情報開示において、3年連続でCDP Aスコアを獲得

ダイセキは、国際的な非営利団体であるCDPにより、気候変動分野の透明性とパフォーマンスにおけるリーダーシップが認められ、2025年度のAリスト企業に選定されました。Aリスト企業への選定は3年連続となります。2025年度には、127兆米ドル以上の資産を保有する640の機関投資家が環境へのインパクト、リスク、機会に関するデータ収集をCDPに要請し、22,100社を超える企業がCDPを通じて環境データを開示しました。

CDPは詳細かつ独立した手法でこれらの企業をスコアリングし、情報開示の包括性、環境リスクに対する認識と管理、野心的で有意義な目標設定など環境リーダーシップに関連するベストプラクティスの実証に基づいて、AからD-のスコアを付与しています。情報開示を行わない、あるいは十分な情報を提供しない企業にはFのスコアが付与されます。



今後の見通し

今回、CDP 気候変動の A リスト企業に選定されたことにより、お客様からは高いご評価をいただいております。未来の環境のために、気候変動問題への取り組みに対し、ダイセキグループ全体で、さらなる強化に取り組んでまいります。その結果、中長期的にダイセキグループの企業価値が高まり、投資家の皆様に、より多くの還元ができると考えております。

ダイセキについて

ダイセキグループは、株式会社ダイセキ及び連結子会社8社（北陸ダイセキ株式会社、株式会社ダイセキ環境ソリューション、株式会社ダイセキMCR、システム機工株式会社、株式会社グリーンアローズ中部、株式会社グリーンアローズ九州、株式会社杉本商事、有限会社杉本紙業）で構成されており、産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬・中間処理、土壤汚染調査・処理、使用済みバッテリーの収集運搬・再生利用、鉛の精錬及び非鉄金属原料の販売、タンク洗浄およびタンクに付帯する工事、VOCガスの回収作業、スラッジ減量化作業、COW洗浄機器販売、石油化学製品・商品の製造販売を主な事業の内容としています。

CDPについて

CDPは、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営する国際的な非営利団体です。環境報告のパイオニアとして、透明性と変革を推進するデータの力を信じています。ビジネス、資本、政策、科学のリーダーと提携し、アースポジティブな意思決定を可能にする新たな情報を提供しています。2024年には、24,800社を超える企業と1,000以上の自治体がCDP質問書を通じて環境情報を開示しました。世界の運用資産の4分の1以上を保有する金融機関は、投資や融資の意思決定のためにCDPデータを活用しています。CDP質問書は、ISSBの気候基準であるIFRS S2への整合をはじめ、重要な情報開示基準やベストプラクティスをひとつのフレームワークに統合しています。

以上